



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R5 CS通信No.11 R5.11.14



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

学校支援ボランティアが入ったミシン学習



舞戸小学校では、5～6年のミシン学習に学校支援ボランティアが入って授業を進めています。

10月2日(月)は、地域学校協働活動推進員の渋谷貴子さんの声かけで、3名の学校支援ボランティアが入り、ミシン学習の支援を行いました。

6年生は、家庭科担当の神先生の全体指導のあと、エプロンのわき縫いをする場面で、各グループに学校支援ボランティアが入り、ミシン縫いのアドバイスをしていました。

学校支援ボランティアの皆さんは、「みんな素直で、器用にミシンを扱っている。」
「6年生は、去年からミシン学習を行っているので、ミシンの扱いに慣れている。」と笑顔で話していました。また、子どもたちは、「学校支援ボランティアの先生からたくさんのお話を学ぶことができる。」

「一つのグループに大人が一人いると、待たなくても、直ぐに教えてもらうことができる。」と、満足した顔で話していました。

感動あふれる鯨中祭合唱コンクール



10月14日(土)、鯨ヶ沢中学校で、合唱コンクールがありました。

合唱コンクールを保護者や地域の方々に参観してもらうことによって、地域に元気を与え、活性化につなげることができます。また、地域住民の生きがいづくりや自己実現にもつながります。

合唱コンクールでは、指揮者と伴奏者と歌手が一体となって、練習の成果を披露しました。

参観に訪れた保護者や地域の方々は、「子どもたちが頑張っている姿を見て感動した。」
「今日の日を迎えるまで、みんなで励まし合って頑張ってきたのだと思う。今日は、そのことが、生徒の皆さんから伝わってきた。来て良かった。」と、笑顔で話していました。

令和5年度 第2回CSタウンミーティング



10月30日(土)鯨ヶ沢中学校で、令和5年度第2回CSタウンミーティングが開催され、「学校と家庭、地域が連携した児童生徒の健康づくり」をテーマに、問題提起、資料発表、講演を聞きながら児童生徒の健康づくりについて考えました。

参加した保護者や地域の方々は、「子どもの健康は、当たり前とっていたが、中学生の健康児が2割と聞き、ショックだった。」
「町による中学生を対象にした健康教育をきっかけに、健康を意識して血圧を測るようになった。大人になった今でも、家に帰ると測っている。自分の健康を数値で確かめるようになった。」
「健康課題に対して、学校、家庭、地域がそれぞれできることを連携して取り組むことが大切である。」と、真剣な表情で話していました。